



虹

2023年 5月19日(金)

横浜市立並木中学校

第3学年進路通信 第3号

発行者:

インクルーシブ教育実践推進校のご案内


今年度初めての進路説明会を6/26(月)に開催します。第1部では、高等学校説明会を実施します。公立高校2校、私立高校2校の先生方をお呼びして高校の紹介をしていただきます。第2部では、おもに神奈川県公立高等学校入学者選抜制度について説明する予定です。

また、このなかでインクルーシブ教育実践推進校についても説明します。インクルーシブ教育実践推進校とは、共生社会の実現をめざして、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び、共に育つインクルーシブ教育を推進する学校のことです。神奈川県教育委員会では、平成28年度からインクルーシブ教育実践推進校(パイロット校)を3校指定して、取組を進めてきました。令和6年度からインクルーシブ教育実践推進校が新たに4校加わり、実践推進校は18校になります。

インクルーシブ教育実践推進校特別募集 を考えている中学生のみなさんへ

「インクルーシブ教育実践推進校」とは、誰もが大切にされ、いきいきと暮らせる「共生社会」をめざして、知的障がいのある生徒が高校で学ぶ機会をひろげながら、みんなで一緒に過ごすなかで、お互いのことをわかりあって成長していくことを目標にしている高校です。

【インクルーシブ教育実践推進校の生活について】

朝のホームルーム	家から学校まで、朝のホームルームに間に合うように自分で登校します。通う学校によってはバスや電車に乗って登校することもあります。
授業(1時間目)	インクルーシブ教育実践推進校では特別募集で入学した生徒もクラスのメンバーとして一緒に授業で学んでいます。
授業(2時間目)	
授業(3時間目)	
授業(4時間目)	Q. 教室での授業はどんな感じですか? A. クラスのみんなと一緒に学びます。 1年生の時は40人くらいが集まる教室で受ける授業が多いです。2人の先生が教えてくれる授業もあります。
昼休み	
授業(5時間目)	
授業(6時間目)	
帰りのホームルーム	クラスメイトと一緒にお昼を食べたり、図書館でゆっくり本を読んだり、自分の過ごしやすい方法で過ごします。
放課後	部活動や委員会活動などに取り組むこともできます。

(1) 学校生活について

みんなと一緒に生活するなかで、お互いのことをわかりあいながら、社会性・思いやりの心を育みます。

- 40人くらいの学級で生活します。
- 支えてくれるたくさんの先生がいます。
- 学校行事には、クラスのメンバーとして参加します。
- 生徒会活動や、部活動など、さまざまな活動に取り組むことができます。



(2) 授業について

高校のカリキュラムで、高校の教科書を使って学びます。わかりやすく工夫されたさまざまな方法の授業があります。

- 毎日授業に出席して、学習内容を理解することで、単位を取得して進級します。
- 先生と相談して一人ひとりにあつた目標をたてて学習します。
- 困ったときは、周りの友だちや先生に質問したり、どうすれば解決できるか一緒に考えたりします。
- 自分の目標に向かって意欲をもって取り組むことが大切です。

(3) キャリア教育について

高校を卒業した後の社会で必要な力を、キャリア教育の授業などで3年間をとおして計画的に身に付けます。

- 将来の社会生活に必要なマナーやコミュニケーションなどの学習を行ったり、将来の過ごし方を考えたりします。
- 夏休み中などに、学校や職場の見学、働くことの体験学習などを行います。



(4) 相互理解について

学校生活のなかで、生徒同士がお互いのことを理解し、認め合い、共に過ごしていくことの大切さを学びます。

- 毎日一緒に学校生活を過ごすことに加えて、学習会や体験会などの活動を行います。



たくさんの仲間と共に学び、共に活動しながら高校生活を送りたいと考えているみなさんは、ぜひ、各インクルーシブ教育実践推進校で行われる説明会や中学3年生を対象とした中高連携事業などに参加して、実践推進校での高校生活をイメージしてみてください。

(神奈川県教育委員会 HP より抜粋)

*資料の詳細は、神奈川県教育委員会のHPまたは、並木中学校HPをご覧ください。

インクルーシブ教育実践推進校受検を考えている方は必ずお読みください。

今年度、インクルーシブ教育実践推進校は18校設置されています。インクルーシブ実践推進校では、特別募集の対象となる生徒が、高校について十分に理解したうえで、志願について検討できるようにするため中高連携事業という説明会を実施しています。志願を検討している中学3年生とその保護者の方はできる限り参加をしてください。(6月、9月に各校ごとに日程が設定されています。)

横浜市には神奈川県立城郷高等学校、神奈川県立南陵高等学校(※)、神奈川県立保土ヶ谷高等学校(※)、神奈川県立霧が丘高等学校、神奈川県立白山高等学校(※)、神奈川県立上矢部高等学校の6校が設置されています。中高連携事業の詳細は、各高等学校のHPをご覧ください。また、本校の進路情報を掲載しているGoogle クラウドクラスルームや中学校HPでは、各学校の中高連携事業のお知らせを掲載します。(※新たな指定校)

学校名	所在地	学校名	所在地
1 城郷高等学校	横浜市 神奈川区	10 上鶴間高等学校	相模原市 南区
2 横浜南陵高等学校※	横浜市 港南区	11 津久井浜高等学校	横須賀市
3 保土ヶ谷高等学校※	横浜市 保土ヶ谷区	12 湘南台高等学校	藤沢市
4 霧が丘高等学校	横浜市 緑区	13 茅ヶ崎高等学校	茅ヶ崎市
5 白山高等学校※	横浜市 緑区	14 厚木西高等学校	厚木市
6 上矢部高等学校	横浜市 戸塚区	15 伊勢原高等学校	伊勢原市
7 川崎北高等学校	川崎市 宮前区	16 足柄高等学校	南足柄市
8 菅高等学校※	川崎市 多摩区	17 綾瀬高等学校	綾瀬市
9 橋本高等学校	相模原市 緑区	18 二宮高等学校	中郡二宮町

※マークは令和6年度より新たに加わる実践推進校になります。

中高連携事業 申込票提出期間

- ① 5/22~26 (6月中の連携事業に参加する場合、ここで申し込みます。9月分もこの期間で申し込むことも可能です。)
- ② 8/21~25

中高連携事業に参加する場合、事前に申込票の提出が必要です。ご希望の方は
までご連絡ください。

並木中学校 TEL 045-783-5805

インクルーシブ教育実践推進校について

神奈川県教育委員会では、平成28年度から始まった県立高校改革において、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を拡大するため、インクルーシブ教育実践推進校を指定して、取組を進めてきました。令和6年度入学生から、新たに4校を指定し、実践推進校は18校になります。

かながわのインクルーシブ教育の推進

神奈川県では、共生社会^{*}の実現をめざして、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び、共に育つインクルーシブ教育を推進しています。

※共生社会：すべての人が、相互に、人格と個性を尊重し、支え合い、生き生きと生活できる社会。

インクルーシブ教育実践推進校の教育活動

インクルーシブ教育実践推進校特別募集は、**知的障がいのある方**を対象としています。

特別募集で入学した生徒を含めた在校生全員の学びやすい環境づくりのため、インクルーシブ教育実践推進校では様々な取組を行っています。

○ 学校生活全般

- ア 40名程度のクラスで学びます。特別募集で入学した生徒だけのクラスがあるわけではありません。
- イ 教科等の学習、学校行事、生徒会活動、部活動等、毎日の学校生活全般をクラスで過ごします。
- ウ 公共交通機関等を利用して、学校への通学や校外における学習活動に参加します。

○ キャリア教育

- ア 卒業後の自己実現と円滑な社会接続に向け、3年間を通して計画的なキャリア教育を行います。
- イ キャリア教育では、自己や他者の理解、コミュニケーション能力など、社会で必要となる能力の向上をめざします。これらの能力を身につけるため、キャリア教育の科目を設置しています。
- ウ 夏季休業期間中などを利用して、職場見学や職業体験学習等を行います。
- エ 地域の特別支援学校、企業、労働関係機関等と連携して、取組を進めます。

○ 教科等の学習

- ア 各高校が行っている教育課程で学びます。
- イ 毎日授業に出席して学習内容の理解に取り組むことで、単位を取得し、進級します。
- ウ 観点別評価を行い、数字での評価を基本とします。
- エ 一斉授業で学びます。
- オ 教員1名の授業を基本としながら、状況に応じて、複数の教員で教えるティーム・ティーチングやグループワークなど、多様な学びを行います。
- カ 先生と相談し、一人ひとりにあった目標をたてながら学習します。

○ 相互理解

- ア 学校の教育活動全体で、生徒同士の相互理解を深めます。
- イ すべての生徒の「多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力」を育みます。
- ウ 講演会やワークショップ等、多様性の尊重や共生社会等について、生徒が主体的に考える活動を行います。

インクルーシブ教育実践推進校について、詳しくはこちら▶

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/j7d/index.html>



インクルーシブ教育実践推進校特別募集の志願に向けて

中高連携事業について

インクルーシブ教育実践推進校について十分に理解したうえで、中学校卒業後の進路を検討していただくため、各インクルーシブ教育実践推進校にて「中高連携事業」を実施しています。

対象者は、**中学3年生** とその保護者、中学校の先生です。

実施日等については、各インクルーシブ教育実践推進校やインクルーシブ教育推進課のウェブサイトをご確認ください。

<中高連携事業>

- 学校説明 … 高校での学習や生活全般について、説明を聞きます。
- 授業見学 … 実際に、インクルーシブ教育実践推進校の授業や教室の様子を見学します。

☆ 実践推進校にはそれぞれ学校の特色があります。入学後の高校生活がより良いものとなるよう、志願を検討している各実践推進校の中高連携事業にご参加ください。

中学1・2年生対象説明会について

各インクルーシブ教育実践推進校にて、**中学1・2年生** とその保護者、中学校の先生を対象に説明会を実施しています。

実施日等については、各インクルーシブ教育実践推進校のウェブサイトでご確認ください。

☆神奈川県には様々な特色のある学校があります。詳しくは次のウェブサイトをご参照ください。

<ウェブサイト> 「はいすくーる・わんだーらんど（神奈川の公立高校紹介ページ）」

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/tokushoku/hsw/>



実践推進校についてのQ & A

Q 1 特別募集で入学した生徒は、どのように学校生活を過ごしますか？

A 1 授業や学校行事、部活動など、すべての生徒が共に学校生活を送ります。ただし、キャリア教育の授業など、別の教室で学ぶ場合があります。

Q 2 卒業生の進路先にはどのような例がありますか？

A 2 卒業生は、キャリア教育の授業や体験学習などを通して自らの進路について考え、進学、職業訓練機関、就職、福祉サービスの利用など、様々な道へ進んでいます。

☆インクルーシブ教育推進課のウェブサイトには上記以外のQ & Aや実践推進校の情報を掲載しています。

お問合せ先

神奈川県教育委員会教育局 インクルーシブ教育推進課 指導グループ

TEL 045-285-1022 Fax 045-285-9775

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/j7d/index.html>

